

第 2 期 当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

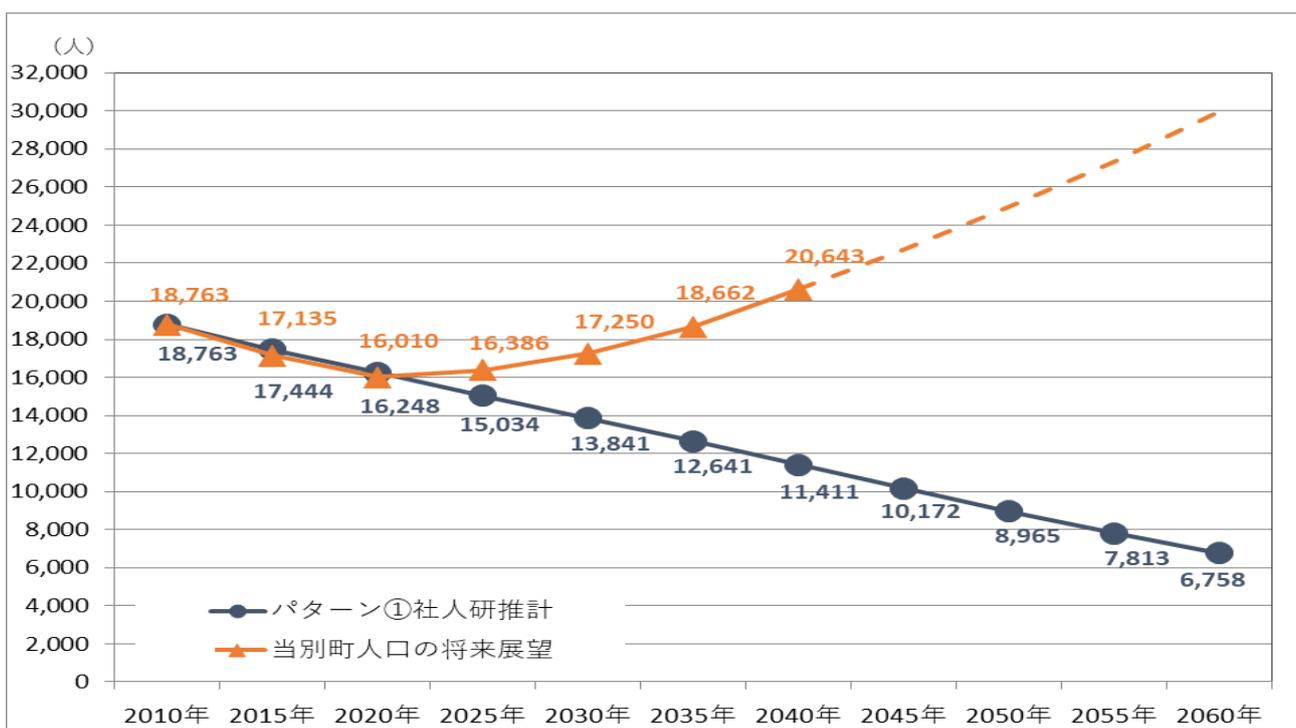
1 人口及び世帯数の推移について

(1) 人口

本町の人口は、将来推計の予想どおり減少の一途となっており、その将来展望については、総合戦略の各施策の効果が現れる 2020 年以降から緩やかな増加を見込んでいるものの、実際の人口減少には歯止めがかかっていない状況である。

住民基本台帳			①	②
2018 年 (平成 30 年)	4 月 1 日現在	16,240 人	—	—
2019 年 (令和元年)	4 月 1 日現在	15,972 人	▲268 人	▲268 人
2020 年 (令和 2 年)	4 月 1 日現在	15,731 人	▲509 人	▲241 人
2021 年 (令和 3 年)	4 月 1 日現在	15,498 人	▲742 人	▲233 人
2022 年 (令和 4 年)	4 月 1 日現在	15,353 人	▲887 人	▲145 人

【図表 1】人口の推移 ※①については 2018 年 4 月 1 日との対比。②については前年との対比。



【図表 2】総人口の将来展望：人口ビジョンより

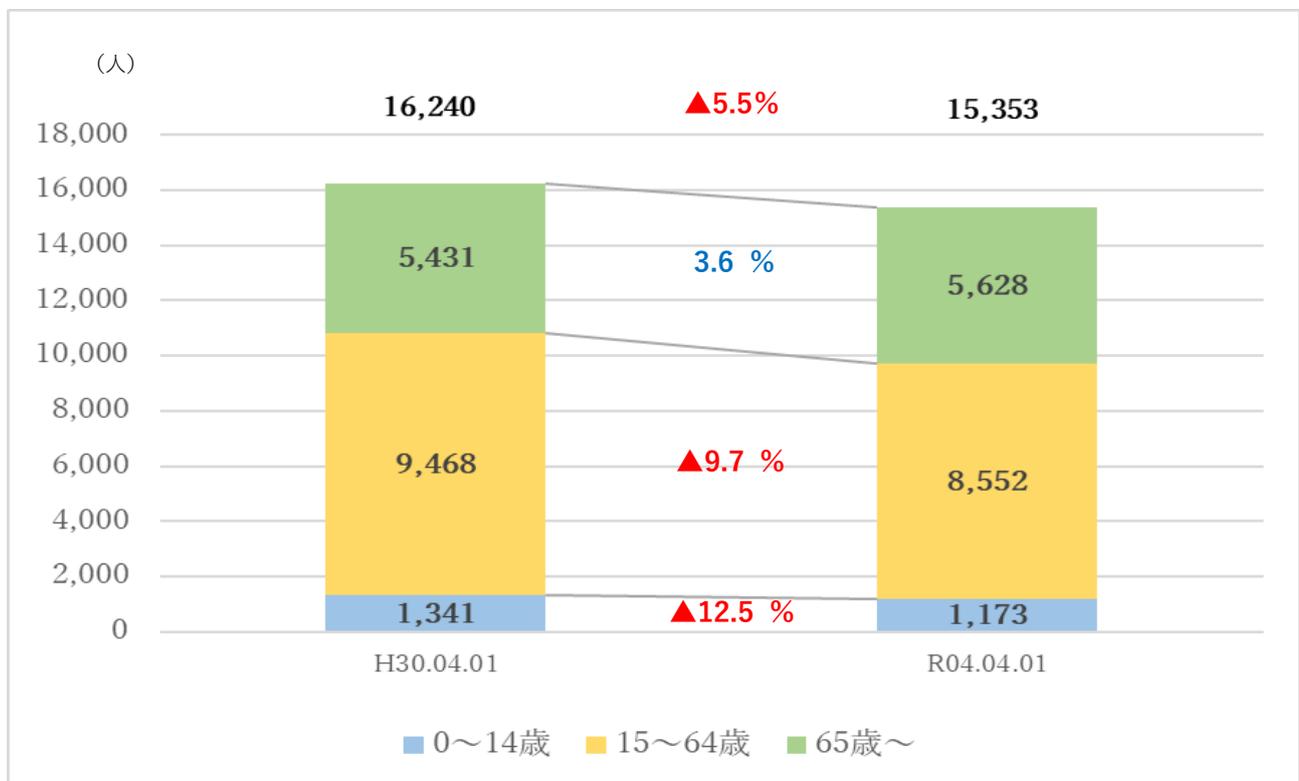
	①人口ビジョン	②4月1日現在		③10月1日現在	
		住民基本台帳	②-①	住民基本台帳	③-①
2018年（平成30年）	16,460人	16,240人	▲220人	16,152人	▲308人
2019年（令和元年）	16,235人	15,972人	▲263人	15,897人	▲338人
2020年（令和2年）	16,010人	15,731人	▲279人	15,676人	▲334人
2021年（令和3年）	16,085人	15,498人	▲587人	15,428人	▲657人
2022年（令和4年）	16,160人	15,353人	▲807人	—	—

【図表3】人口ビジョンと現状との比較

※人口ビジョンの増減数については、それぞれ5年間の増減数を5年間で除したものである。

（2）年代別人口

年代別で見ると、老年人口が増加する一方、生産年齢人口・年少人口が減少しており、特に年少人口の減少が著しい。



【図表4】年代別人口の推移

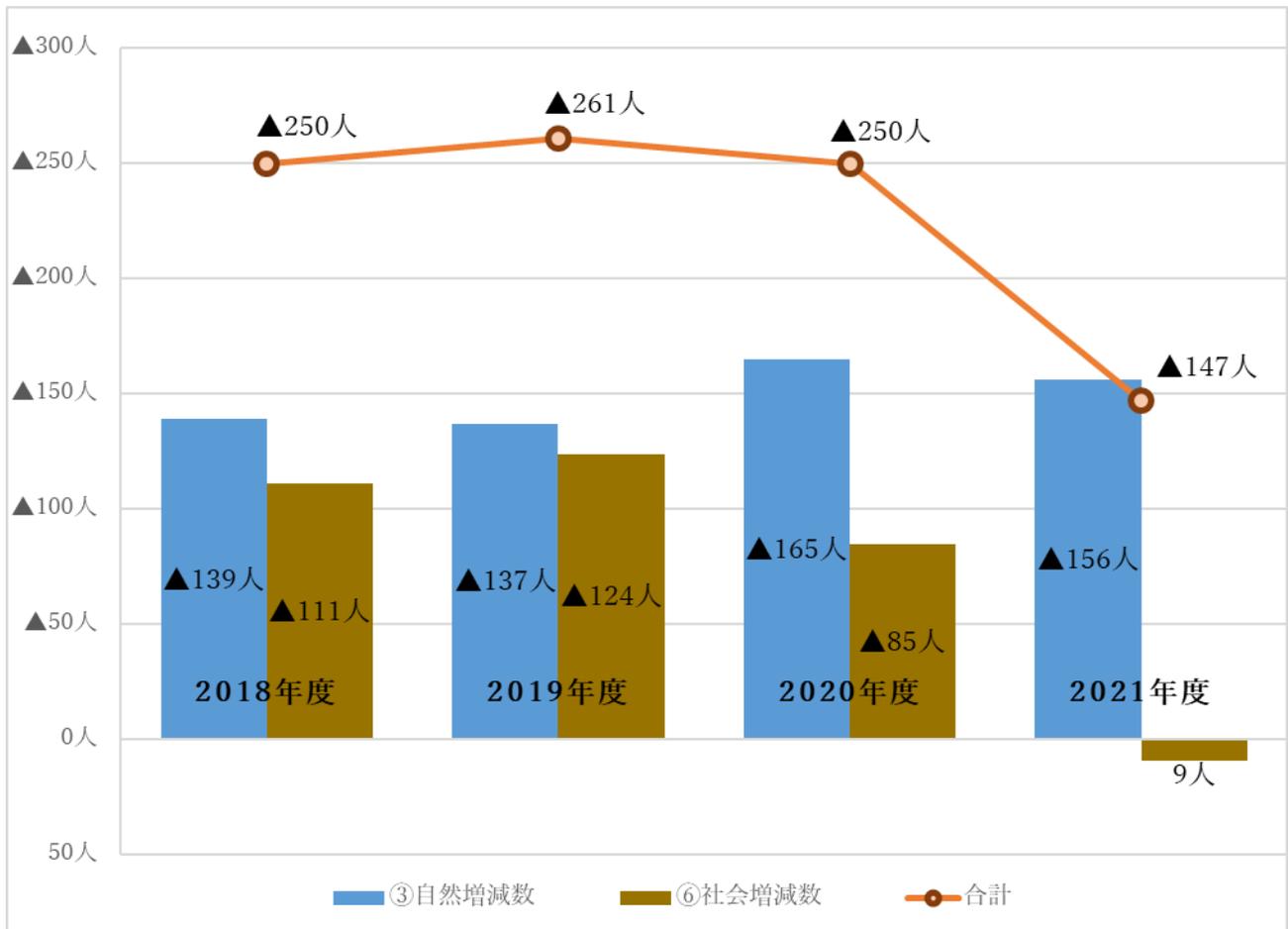
(3) 人口増減要因の内訳

昨年度との比較において、死亡者数は微減、転出者数が減少（＝人口増）、出生数及び転入者数が増加（＝人口増）している。

2018年度と比較すると、自然増減数は増加（＝人口減）しているものの、社会増減数は転入超過となり、人口増加に転じている。

住民基本台帳 04.01～03.31	①出生数		②死亡者数		③自然増減数 (①-②)	④転入者数		⑤転出者数		⑥社会増減数 (④-⑤)
		増減		増減			増減		増減	
2018年度 (H30)	55人	－	194人	－	▲139人	665人	－	776人	－	▲111人
2019年度 (R01)	39人	▲16人	176人	▲18人	▲137人	590人	▲75人	714人	▲62人	▲124人
2020年度 (R02)	48人	9人	213人	37人	▲165人	624人	34人	709人	▲5人	▲85人
2021年度 (R03)	54人	6人	210人	▲3人	▲156人	705人	81人	696人	▲13人	9人

【図表5】人口増減の内訳



【図表6】年度別人口増減要因の推移

(4) 世帯数

世帯数については、人口の減少に比例することなく、微増傾向が続いている。

住民基本台帳			①	②
2018年 (平成30年)	4月1日現在	7,620世帯	—	—
2019年 (令和元年)	4月1日現在	7,634世帯	14世帯	—
2020年 (令和2年)	4月1日現在	7,634世帯	14世帯	0世帯
2021年 (令和3年)	4月1日現在	7,648世帯	28世帯	14世帯
2022年 (令和4年)	4月1日現在	7,680世帯	60世帯	32世帯

【図表7】世帯数の推移 ※①については2018年4月1日との対比。②については前年との対比。

2 数値目標・KPI・重点推進プロジェクトの状況等について

(1) 数値目標およびKPI

別紙一覧表(資料2-2)のとおり

(2) 重点推進プロジェクト

別紙プロジェクト調書(資料2-3)のとおり